

かぶら

令和6年9月2日

高崎市立かぶら幼稚園

6号

2学期スタート

昨年に続いて今年も記録的な猛暑でした。40日以上のお休みもあっという間に終わってしまいました。園児は、それぞれの家庭で様々なお休みを過ごしたと思います。台風10号の影響で変則的な2学期のスタートとなりましたが、園児たちの健やかな成長を見守りながら2学期も幼稚園での活動を展開して参りたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

「あっという間」といえば、激戦をくりひろげたパリオリンピックもあっという間に終わってしまいました。45個のメダルの内20個が金メダルという素晴らしい結果を残してくれました。メダルを獲得した選手のみなさん、おめでとうございます。出場された全選手のみなさん、お疲れ様でした。その中で私が感じたことを2点述べたいと思います。

1. 柔道女子阿部詩選手

阿部選手は、東京から2連覇をかけてパリにのぞんだわけですが、まさかの2回戦敗退となってしまいました。試合後の号泣する姿を多くの方が視聴したと思います。この号泣には賛否両論ですが、私は、日本の柔道選手もここまで試合会場で感情を表せるようになったのかと思いました。20年30年前では、絶対にあり得なかったと思います。競技の国際的レベルから、柔道やレスリング選手は、「日本一＝世界一」と思われてしまうと共に期待されます。その重圧は計り知れないものだと思います。その重圧を背負って金メダルを獲得した選手は、真の王者であるのです。

阿部詩選手は、年齢的にも次のロサンゼルスで兄妹そろっての金メダルが、狙えると思います。是非頑張ってもらいたいです。

2. 男子バレーボール

1972年のミュンヘンオリンピック以来の金メダルが、狙えるチームとしてパリにのぞんだと思います。準々決勝イタリア戦で、2-0とリードし第3セットもマッチポイントまでこぎつけて、そこからまさかの逆転負けを喫してしまいました。観戦していた私が思い出したのは、ミュンヘンでは、準決勝ブルガリア戦で、0-2で負けていてそこから3セット連取して勝ち、決勝で東ドイツに勝ち金メダルを獲得したことを思い出しました。日本男子バレーボールチームに与えられた試練だったのかと思いました。

阿部選手も男子バレーボールチームも決して油断した訳ではないと思います。勝負の世界の厳しさを改めて痛感させられました。

そして現在は、パリパラリンピックの真っ最中です。少し残念なのが、放映時間が少ないことです。パラスポーツの今後の活躍と発展のためにも、もっとたくさんの競技を中継していただきたいと感じているのは、私だけではないと思います。

2学期の主な行事予定

9月17日	お月見会	11月12日	みかん狩り（年長）
9月27日	誕生会	11月14日	やきいも会
10月5日	運動会	11月26日	保育参観（年少）
10月9日	サツマイモ掘り	11月29日	誕生会
10月22日	秋の遠足	12月4日	保育参観（年中）
10月29日	誕生会	12月12日	保育参観（年長）
10月30日	消防署見学（年長）	12月24日	誕生会
11月6日	給食センター見学（年中）	12月25日	2学期終業式（給食無し）